

今年度からよろしくお願ひします

この度の異動で八代市の有佐小学校から本校に赴任しました、校長の白石 孝裕です。よろしくお願ひいたします。

八代市からの転任ですが、もともと西原村内の宮山に住んでいます。通勤時間がずいぶん短くなりました。

また、西中は初めてではありません。ずいぶん昔にはなりますが、平成9年度から3年間、この学校でお世話になりました。たくさんの方々とお話ができ、また温かく支えていただき、個人的にも非常に思い入れの深い学校です。

地元の学校で勤務できることのありがたさと責任感を、ひしひしと感じています。

この出会いを大切に、ご家庭と地域、学校が協働しながら、生徒たちの確かな成長につなげていきたいと、決意を新たにしています。今年一年間たいへんお世話になります。



新年度・1学期の始まり

4/8(木)に就任式・始業式を行いました。

私を含め4名の着任者の就任式が終わった後の始業式で、私が今考えていることを話しました。

以下、その概略です。

●今年の教育目標を『**豊かにつながる**』『**自ら学ぶ**』『**たくましく生きる**』生徒の育成～**これからの社会を生き抜く力を**～としました。

●その実現に向けたキーワードを、「開いてつながる」と設定しました。少し漠然としているので、この1学期の始まりにおいて、取り組んでほしいことを二つ、具体的に挙げます。

●一つ目は、「**新しい目標を立てて、新しい自分を探す**」こと。自分が目指す姿への見通しを開いて、その実現につなげてほしい、ということです。

●自分はどうしたい、こうありたい。とにかく、できるだけ明確な目標をつくることです。

●そして、それが達成できるように、具体的に行動することで、新しい自分を発見できるはず。自分の可能性を開き、なりたい自分につなげてください。(右上に続きます)



●二つ目は「**人とのつながりを大切に**」すること。学級の仲間、学年の仲間、先輩と後輩、生徒の皆さんと先生たち、そしてこの西原村在住の方々、「**心を開いて、つながる**」ことを大切にしてほしいと思います。

●そのためには、まずは人間関係を創る第一歩である「あいさつ」です。気持ちの良いあいさつで、**心が開き、気持ちがつながります**。

●逆に**互いのつながりを切ってしまう「いじめ」「人の悪口を言い合うこと」**は、絶対にしないでほしい。「いじめ」「悪口」については、しない勇氣、やめる勇氣、止める勇氣をしっかりと持ってほしい。いじめは絶対に許されるものではありません。

●そのうえで、学校内、そして学校外の人の様々な考えや意見に触れて、自分の視野を広げてほしいと思います。学校教育目標の冒頭にある「豊かにつながる」とは、そういうことです。

以上、私が始業式で話したことをまとめてみました。自己の将来へ開かれた展望をもち、自己実現につなげてほしいこと、そして、コロナ禍ではありますが学校内外の様々な人と、やり方を工夫しながら交流を進め、ものの見方や考え方を広げてほしいと願っています。

また、「学校教育目標」について補足します。

●「**自ら学ぶ**」: まずは確かな学力を身に付けさせたいと考えます。学力を高めることで、未来における可能性を広げることができます。生徒の進路選択及び将来への展望を開き、自己実現につなげるためにも、「**自ら学ぶ**」姿勢を定着させ、**学力充実に力を注ぎたい**と思います。

●「**たくましく生きる**」: 熊本地震、新型コロナウイルス、異常気象による水害等、私達がここ数十年では経験してこなかった災害等が断続的に発生しています。また、生徒を取り巻く生活環境の大きな変化が、健康で安全な生活に悪影響を与える可能性も否定できません。

様々な**リスクを感知する開かれた展望**をもち、**危険な要素を乗り越えながら、健康的で安全な生活につなげることができるたくましさ**を備えた生徒の育成に努めます。

本校職員と生徒、ご家庭、地域にお住まいの方々、村行政の五者の連携を充実させたいと考えますので、よろしくお願ひいたします。